

- 28.それというのめかれらがアッラーの御怒りになることばかりを行い、かれの御喜びになられることを嫌ったため、かれがかれらの行いを虚しくしたのである。
- 29.それとも心に病を宿す者は、自分たちの（密な）悪意をアッラーが明るくに出されないとしても考えるのか。
- 30.もしわれが欲するなら、かれら（偽信者）をあなたに指し示し、その特徴によって識別出来、また（かれらは）言葉の調子によっても分る。本当にアッラーはあなたがたの行うことを知っておられる。
- 31.われはあなたがたの中、努力し、耐え忍ぶ者たちを区別するためにあなたがたを試す。またあなたがたの言行をも確める。
- 32.本当に信仰しない者、そして（人びとを）アッラーの道から妨げ、また導きが明らかにされた後使徒に反抗する者たちがいるが、少しもアッラーを損うことは出来ない。かれは、かれらの行いを虚しくなされる。
- 33.あなたがた信仰する者よ、アッラーに従い、また使徒に従え。あなたがたの行いを、虚くさせてはならない。
- 34.本当に信仰しないで、アッラーの道から（人びとを）妨げ、不信者として死ぬ者を、アッラーは決して御赦しにはなれない。
- 35.だから落胆してはならない。和平を唱えてはならない。あなたがたは勝利を得るのである。アッラーは、あなたがたと共におられる。決してあなたがたの行いを失敗させない。
- 36.この世の生活は、（一時の）遊びや戯れに過ぎない。あなたがたが信仰して自分の義務を果すならば、かれはあなたがたに報奨を与える。あなたがたは財産（の放棄）を求められているのではない。
- 37.もしかれがそれをあなたがたに求められ、強要されるならば、あなたがたは借しくなり、かれはあなたがたの恨・心を暴露されよう。
- 38.見よ、あなたがたは、アッラーの道のために（所有するものの一部の）施しを求められるのである。それなのにあなたがたの中には、貪欲な者がいる。だが貪欲な者は、只自分の魂を損うだけである。アッラーは自足されているが、あなたがたは貧しい。もしもあなたがたが背き去るならば、かれはあなたがた以外の民を代りに立てられよう。それらはあなたがたと同様ではないであろう。

SURA 48.勝利章〔アル・ファトフ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.本当にわれは、明らかな勝利をあなたに授けた。

- 2.それはアッラーが、あなたのために過去と今後の罪を赦し、またあなたへの恩恵を果して正しい道に導もいて下さり、
- 3.また力強い援助であなたを助けようとなされるためである。
- 4.かれこそは、信者たちの心に安らぎを与え、かれらの信心の上に信心を加えられる方である。本当に、天と地の諸軍勢はアッラーの有である。アッラーは全知にして英明であられる。
- 5.それもかれが、信じる男たちと信じる女たちを川が下を流れる楽園に入らせて、その中に永遠に住ませ、かれらの様々な罪業を消滅なされるとの思し召しから。これこそアッラーの御許では偉大な成就である。
- 6.またかれは、アッラーについて邪な考えをもつ偽信者や女たち、多神教徒は男も女も懲罰なされる。かれらはアッラーに就いて、悪い見解で臆測する者である。これらの者には非運が巡ってきて、アッラーはかれらに激怒され、崇られ、かれらのために地獄を準備なされる。悪い帰り所である。
- 7.天と地の諸軍勢はアッラーのものである。アッラーは偉力ならびなく英明であられる。
- 8.本当にわれは、実証者、吉報の伝達者また警告者として、あなたを遣わした。
- 9.それはあなたがたが、アッラーとその使徒を信じ、またかれ（の教えの宣揚）を助け、かれを尊崇させるためであり、また朝な夕なかれを讃えさせるためである。
- 10.本当にあなたに忠誠を誓う者は、アッラーに忠誠を誓う者である。アッラーの御手がかれらの手の上にあり、それで誰でも誓いを破る者は、自分の魂を損なう者である。また誰でもアッラーとの約束を、果す者には、かれは偉大な報奨を与えるのである。
- 11.後に居残った砂漠のアラブ人たちは、あなたに向かって、「わたしたちは、財産や家族のことに捕われていました。だからどうかわたしたちのために、赦しを祈ってください。」とかれらは、心にもないことを舌の先で言う。言ってやるがいい。「もしもアッラーがあなたがたを害しようとして御望・になり、または益しようとして御望・になれば、誰があなたがたのために少しでもアッラーの意を翻すことなど出来ようか。」いや、アッラーは、あなたがたの行うことを知り尽される。
- 12.いや、使徒と信者たちは、決してその家族の許に帰らないとあなたがたは考え、得意になって、邪念を抱いていた。あなたがたは破滅する民である。
- 13.誰でもアッラーとその使徒を信じないならば、われはそのような不信心の徒に対して燃えさかる火を準備した。
- 14.天と地の大権はアッラーの有である。かれは御望・の者を赦し、また御望・の者を懲罰なされる。本当にアッラーは、寛容にして慈悲深くあられる。
- 15.後に居残った者たちも、あなたがたが出勤して戦利品が取れるとなると、「わたしたちを入れてください。あなたがたの御供をします。」と言い、かれらはアッラーの御言葉を変えようと

望む。言ってやるがいい。「あなたがたは、決してついて来てはならない。アッラーが既にそう仰せられたのである。」するとかれらへ、「あなたがたはわたしたちを恨んでいる。」と言う。いや、かれらは少しも理解しないのである。

16.あと居残った砂漠のアラブたちに言っやるがいい。「今にあなたがたは、強大な勇武の民に対して（戦うために）召集されよう。あなたがたが戦い抜くのか、またはかれらが服従するかのいずれかである。だがこの命令に従えば、アッラーは見事な報奨をあなたがたに与えよう。だがもし以前背いたように背き去るならば、かれは痛ましい懲罰であなたがたを処罰されよう。」

17.ただし、盲人は（出征しなくても）罪はなく、足の障害者や病人にも罪はない。誰でもアッラーとその使徒に従う者は、川が下を流れる楽園に入らされよう。しかし誰でも背き去る者は、痛ましい懲罰が下されるであろう。

18.かれらがあの樹の下であなたに忠誠を誓った時、アッラーは信者たちに、ことの外御満悦であった。かれはかれらの胸に抱くことを知り、かれらに安らぎを下し、手近な勝利をもって報われた。

19.そしてかれらは、（その外に）沢山の戦利品を得た。アッラーは偉力ならびなく英明であられる。

20.アッラーは、あなたがたが得ることになる沢山の戦利品を約束なされた。しかも直ぐにそれを果たされ、あなたがたに（反抗する）人びとの手を押えられた。それは信仰する者への印であり、またあなたがたを正しい道に導くためである。

21.またかれはいまだにあなたがたの力の及ばないものをも（約束されたが）、アッラーはしっかりと取り囲んでいる。本当にアッラーは凡てのことに全能であられる。

22.不信心者たちが、あなたがたと戦ったとしても、かれらはきっと背を向けよう。かれらには、保護者も救助者もない。

23.これは昔からの、アッラーの慣行である。あなたはアッラーの慣行には、少しの変更も見い出せない。

24.またかれこそは、マッカの谷間であなたがたからかれらの手を、また、かれらからあなたがたの手を押えられた方であり、その後かれは、あなたがたにかれらに対し好結果を与えられた。本当にアッラーは、あなたがたの行うことの監視者であられる。

25.かれらこそは（啓示を）拒否し、あなたがたを聖なるマスジドから妨げ、また供物がその犠牲の場に達することを妨げた者である。またあなたがたが、（かれらと混じり住む）信仰する男や女たちを、知らずに踏・躪つて、無意識に罪を犯さないよう

（あなたがたの手を押えられた）。かれは御心に適う者をその慈悲の中に入らせられる。もしかれら（善男善女）が（はっきりと）分れていたならば、われは痛ましい懲罰で不信の徒を懲罰していたであろう。

26.あの時不信心な者たちは、胸の中に慢心の念を燃やした。ジャーヒリーヤ（時代のような）無知による慢心である。それでアッラーは、使徒と信者の上に安らぎを下し、かれらに自制の御言葉を押し付けられた。これはかれらがその（安らぎ）に値し、またそれを受けるためであった。アッラーは凡てのことを知っておられる。

27.本当にアッラーは、使徒のためにかれの夢を真実になされた。もしアッラーが御望・なら、あなたがたは、安心して必ず聖なるマスジドに入り、あなたがたの頭を剃、または（髪を）短かく刈り込んで（ハッジやオムラを全うする）。何も恐れることはないのである。かれはあなたがたが知らないことを知っておられる。そればかりか、かれは手近な一つの勝利を許された。

28.かれこそは、導きと真実な教えをもって、それを凡ての宗教の上に宣揚するため、かれの使徒を遣わされた方。本当にアッラーは立証者として万全であられる。

29.ムハンマドはアッラーの使徒である。かれと共にいる者は不信心の者に対しては強く、挫けず、お栗いの間では優しく親切である。あなたは、かれらがルクウしサジダして、アッラーからの恩恵と御満悦を求めるのを見よう。かれらの印は、額にあるサジダによる跡である。（ムーサーの）律法にも、かれらのような者の譬えがあり、（イーサーの）福音にも、かれらのような譬えがある。それは蒔いた種が芽をふき、丈夫な茎を伸ばして、種を蒔いた者を喜ばせるようなもの。それで不信者たちは、かれらに憤激することであろう。だがアッラーは、かれらの中で信仰して善行に勤しむ者に、容赦と偉大な報奨を約束なされる。

SURA 49.部屋章〔アル・フジュラート〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.信仰する者よ、あなたがたはアッラーとその使徒を差し置いて勝手な振舞いをしてはならない。アッラーを畏れなさい。本当にアッラーは全聴にして全知であられる。
- 2.信仰する者よ、あなたがたの声を預言者の声よりも高く上げてはならない。またあなたがたが栗いに声高に話す時のように、かれに大声で（話して）はならない。あなたがたの気付かない中に、自分の行いを虚しくしないために。
- 3.本当にアッラーの使徒の前でその声を低くする者は、アッラーがその心の敬虔さを試・られた者である。かれらには、赦しと偉大な報奨があろう。
- 4.本当に部屋の外から大声であなたを呼ぶ者の多くは、思慮分別のない者である。
- 5.もしかれらが、あなたの出て来るのを待つならば、それはかれらのためにも良い。本当にアッラーは寛容にして慈悲深くあられる。
- 6.信仰する者よ、もし邪な者が情報をあなたがたに(偽?)したならば、慎重に検討しなさい。これはあなたがたが、気付かない中に人びとに危害を及ぼし、その行ったことを後悔することにならないためである。